

プレスリリース

広島発!

WeSUP.

ウィサポ

スポーツを愛するすべての女性たちのための健康とウェルビーイングを実現する検証プログラム

検証期間:2024年9月~2025年3月

広島テレビ放送(本社:広島市東区 代表取締役社長:飯田政之)は、女性の健康や働き方で課題解決を目指す「わたしらしく生きるプロジェクト」の一環として、2024年9月からサンフレッチェ広島レジーナの選手を対象に検証プログラム「WeSUP.」を実施します。月経など女性特有の健康課題がアスリートに及ぼす影響を検証し、適切な教育やサポートを提供することで心身にどのような変化が現れるかを調べます。当プログラムの結果は、クラブ活動など教育現場まで広げ、広く社会で活躍する女性の健康にも役立てます。スポーツ熱の高い広島発の取り組みとして、全国に発信して参ります。

広島産学医(We)が連携して女性アスリートを支援(Support)

■女性アスリートが抱える課題解決のために4団体が連携し、プログラムを作成します。

運営	実証フィールド	検証	医療監修
	サンフレッチェ広島 レジーナ	 広島大学	広島県産婦人科医会

■事業背景・目的

近年、月経など女性特有の健康課題が、仕事などのパフォーマンスやQOL(生活の質)に影響することがわかってきました。女性の社会進出が進む中、健康支援は欠かせない重要な課題となっています。中でも体を酷使するアスリートは激しいトレーニングや体重制限で月経不順や無月経になるリスクがあります。それがひいては疲労骨折、骨粗しょう症、不妊につながる恐れがありますが、その教育を本人や保護者が受ける機会はほとんどありません。また、キャリア断絶を恐れて妊娠・出産に踏み切れないアスリートもいます。スポーツに打ち込むアスリートたちが適切な教育や支援を受けることで、コンディショニングや人生設計ができるようになる。それが、女性たちの活躍、自立につながると考えます。選手として、女性として、母としてウェルビーイングを追求できる社会を目指すプロジェクトです。

※経済産業省 令和6年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」を活用して実施します。

■検証内容

- 「教育」:産婦人科医などによるヘルスリテラシー講習
- 「支援」:医師の監修、課題解決に適したセルフケア商品(フェムテック商品)の提供
- 「検証」:上記教育、支援がある前と後で月経周辺期症状(腹痛やイライラなど)の重症度、ウェルビーイング評価(心身ともに良い幸福な状態)、パフォーマンスにどのような変化があるかを検証

お問い合わせ先: 広島テレビ「わたしらしく生きるプロジェクト」 佐々木・鶴

☎082-207-0415 ✉wataiki-koho@htv.jp